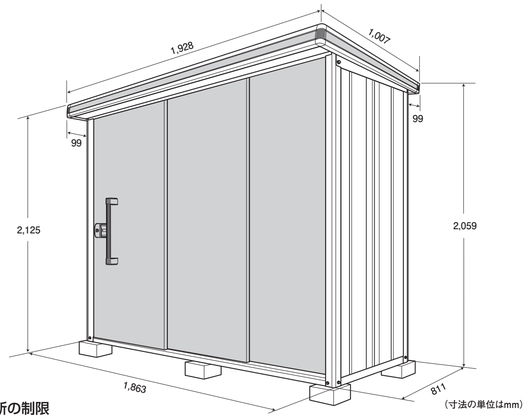
ヨド物置 エルモ
組立説明書LMD-1808型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



（寸法の単位はmm）

●設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- ●崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。 ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- ●組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- ●高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機　種		1808型
部　品		LM5-0131
枠	上枠前後	LM5-0204
	下枠前後	LM5-0254
	上枠左右	LL5-0301
	下枠左右	LM5-0351
柱		LM5-0416
鼻隠し		LM5-1104
床		LM5-0702
屋根		LM5-0902
壁		LM5-1004
		LM5-1021
袖壁		LM5-1054
扉		LM5-1704
棚板		LM5-1901
合計		14

●梱包内容表

●部品
LM5-0131

部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2
ボルト（スプリングワッシャー付）M6×15	5（1）
ELD 柱補強金具（AS）	1
ELD T-レールキャップ	1
T 型レンチ	1
ELD アンカープレート（L）	4
ELD 屋根隙間隠し A	2
ELD 屋根隙間隠し B	1
EL 鍵丸フサギ	1
ボルトM 6 × 15 （白）	117（5）
組立説明書	1
取扱説明書	1
保証書 5 年	1

※（　）内は予備

●上枠前後
LM5-0204

部材名	数量
ELD 上枠前 AS-A2.5	1
ELD 上枠後 A2.5	1

●下枠前後梱包
LM5-0254

部材名	数量
ELD 下枠前 AS-A2.5	1
ELD 下枠後 A2.5	1
ELD 床押え A2.5	2

●上枠左右
LL5-0301

部材名	数量
ELD 上枠左 A 1.0	1
ELD 上枠右 A 1.0 DLK(U)	1

●下枠左右梱包
LM5-0351

部材名	数量
ELD 下枠側 A1.0（左）	1
ELD 下枠側 A1.0（右）	1

●柱
LM5-0416

部材名	数量
ELD 柱前 AS- 右 L	1
ELD 柱前 AS- 左 L	1
ELD 柱後 L	2
ELD 戸当り (M) L	1
ELD 間柱前 L	1
ELD 間柱後 L	2

●床
LM5-0702

部材名	数量
ELD　床板　A1.0	5

●屋根
LM5-0902

部材名	数量
ELD 屋根 (35) A1.0	1
ELD 屋根 (70) A1.0	2

●壁
LM5-1004

部材名	数量
ELD　壁パネル　L-A	4

LM5-1021

部材名	数量
ELD　壁パネル　L-F	1

●袖壁
LM5-1054

部材名	数量
ELD 袖壁　L-C	1

●鼻隠し
LM5-1104

部材名	数量
ELD 鼻隠し前 A2.5	1
ELD 鼻隠し後 A2.5	1

●扉
LM5-1704

部材名	数量
ELD 扉前 L-C	1
ELD 扉後 L-C	1
ELD 扉支持材 AS-C	1
ボルト M 6 × 15（白）	3
ELD 取手	1
ELD 連動車	1
ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

●棚板
LM5-1901

部材名	数量
ELC 棚板 A1.0N	2
ELC 棚受 N 右	2
ELC 棚受 N 左	2

○部材名称にはA1.0、A2.5等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの（市販品をご準備ください。）

・コンクリートブロック　6ヶ（幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。）
・コンクリート（サイズは下図の穴サイズをご参照ください。）※土の上に設置する場合に必要です。
・芯棒打ち込み式アンカー（M12×70以上）4本※コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの（事前にご準備ください。）

・軍手　・水準器　・脚立　・＋ドライバー（右側開口にする場合のみ必要）

●使用ビス一覧

●アンカー工事について

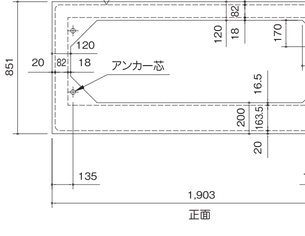
アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

注意 内アンカーにする場合はオプションの「内アンカーセット」が別途必要です。アンカープレート（L）を使って内アンカーの工事はしないでください。

《土の上に設置する場合》

4隅に穴を掘り（下図参照）、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート（L）を固定します。

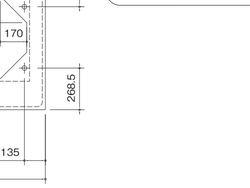
本文ではこの方式を基本として説明しております。



穴サイズ（タテ・ヨコ×深さ）
300□×300（mm）

《コンクリート床の上に設置する場合》

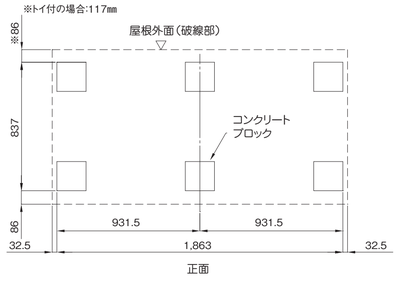
オールアンカー等、市販の芯棒打ち込み式アンカー（M12-70以上で）で固定してください。



⚠注意　強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情（基準風速・凍上による不陸など）にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

①設置場所の地ならし、地固めを行います。
②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。（数字の単位はmm）



注意
基礎の水平が出ていないと以下のような不具合が出てきます。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない。
・鍵が掛からない。

注意
内アンカーにする場合は、設置位置が変わります。
内アンカーセット（オプション）の組立説明書を先にお読みください。

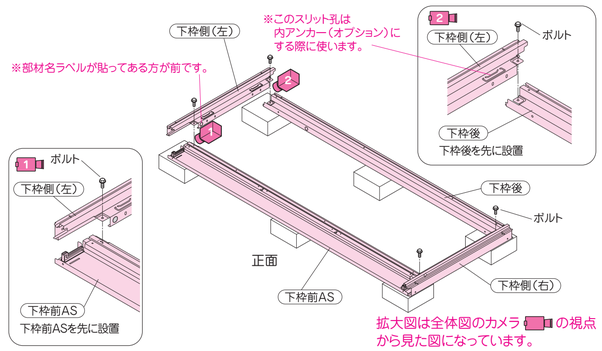
《布基礎の場合》（詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。）

注意
布基礎にする場合は内アンカーセット（オプション 梱包番号：LM5-6741）が別途必要です。

2 下枠の組立

使用梱包	LM5-0254
	LM5-0351
使用ボルト数	4本

①下枠前AS・下枠後をコンクリートブロックの上に設置します。
②下枠側を下枠前AS・下枠後の上から設置して4隅をボルト止めします。 1 2

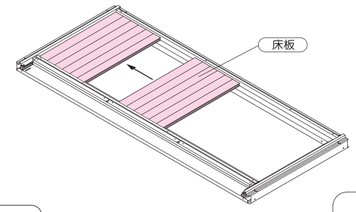


拡大図は全体図のカメラ 1 2 の視点から見た図になっています。

3 床の設置

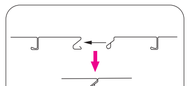
使用梱包	LM5-0702
使用ボルト数	0本

①床板を左端、もしくは右端（どちらからでも構いません。）から順番に並べていきます。



注意
内アンカーにする場合は、床を張る前にアンカー工事を行ってください。
※工事方法は内アンカーセット（オプション）の説明書をご参照ください。

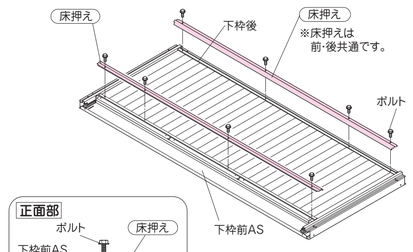
注意
床板が下枠前後に対して斜めに納まる場合は下枠の対角を修正してください。

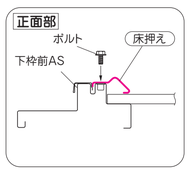


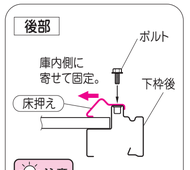
4 床押えの取付け

使用梱包	LM5-0254
使用ボルト数	8本

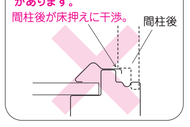
①床押えを下枠前AS・下枠後に取付けます。







注意
後部に取り付ける床押えは庫内側に寄せて取付けてください。外寄りに取り付けると間柱後・壁パネルが入りにくくなる場合があります。

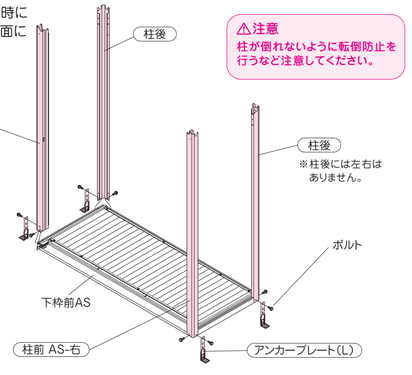


5 柱の取付け

使用梱包	LM5-0416
	LM5-0131
使用ボルト数	8本

①柱前AS・柱後を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。
※外アンカーにする場合は同時にアンカープレート（L）を側面にボルト止めします。

⚠注意
柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

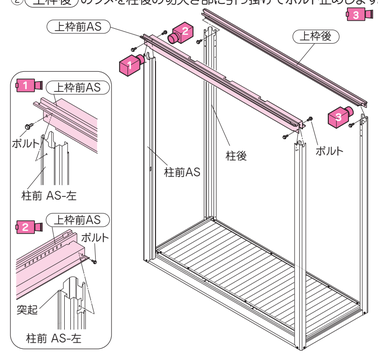


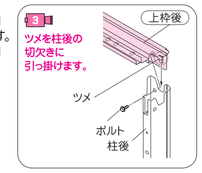
ワンポイント
柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。
矢印の向きに従って柱を取付けてください。

6 上枠前後の取付け

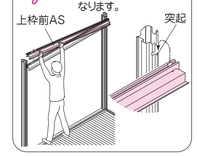
使用梱包	LM5-0204
使用ボルト数	6本

①上枠前ASを柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
②上枠後のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。 1 2 3





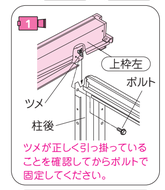
ワンポイント
上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。



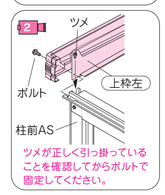
7 上枠左右の取付け

使用梱包	LL5-0301
使用ボルト数	4本

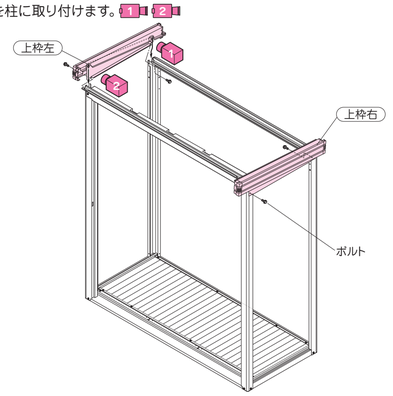
①上枠左・上枠右を柱に取り付けます。 1 2



ツメが正しく引っ掛けていることを確認してからボルトで固定してください。



ツメが正しく引っ掛けていることを確認してからボルトで固定してください。

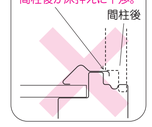


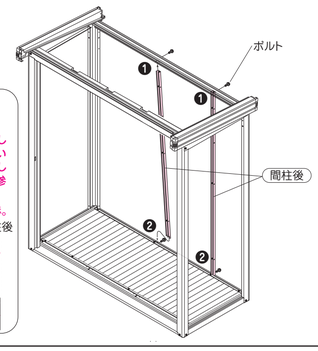
8 間柱後の取付け

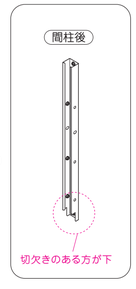
使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	4本

①間柱後の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。

注意
間柱が床押えに干渉して下枠に差し込めない場合は床押えを調整してください。（工程4参照）



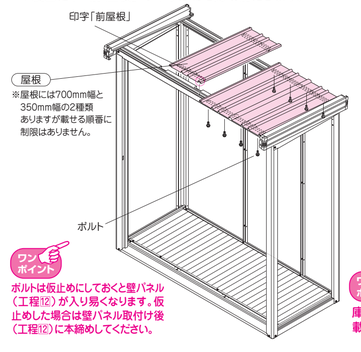




9 屋根の取付け

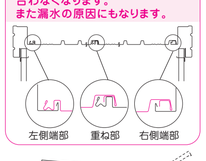
使用梱包	LM5-0902
使用ボルト数	20本

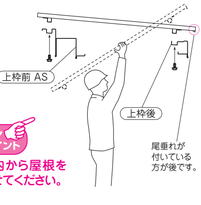
①屋根を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒前 屋根」の印字がある方を前にします。



ワンポイント
ボルトは仮止めにしておくと壁パネル（工程12）が入り易くなります。仮止めした場合は壁パネル取付け後（工程12）に本締めしてください。

⚠注意
屋根は正しく重ねてください。
正しく重ねないとボルトの固定孔が合わなくなります。
また漏水の原因にもなります。





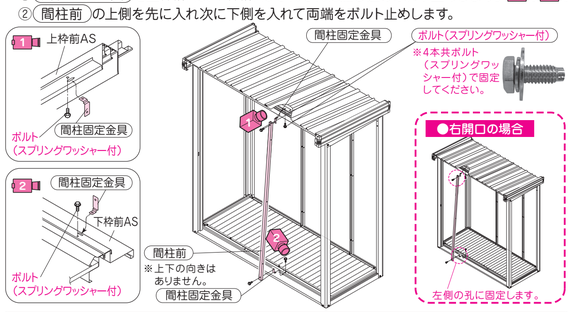
ワンポイント
庫内から屋根を載せてください。

10 間柱前の取付け

使用梱包	LM5-0416 LM5-0131
使用ボルト数	ボルト（スプリングワッシャー付）4本

注意 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書 10 11 13 15 16 18 19 を読んでください。

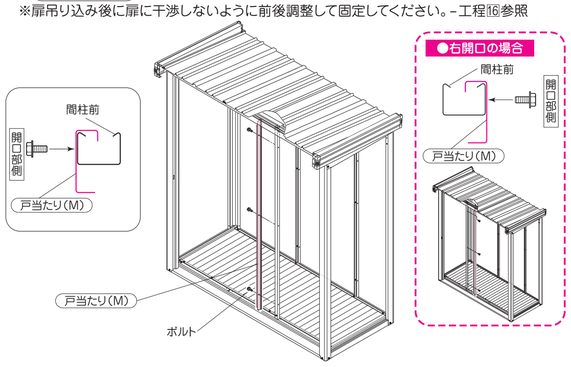
①間柱固定金具を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。1 2
②間柱前の上側を先に入れ次に下側を入れて両端をボルト止めします。



11 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	3本

①戸当たり（M）を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないように前後調整して固定してください。－工程16参照

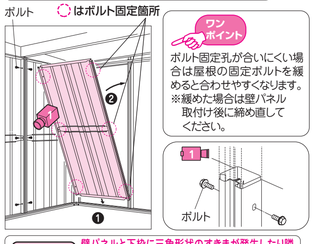


12 壁パネル・袖壁の取付け

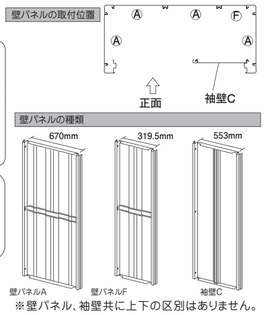
使用梱包	LM5-1004 LM5-1021 LM5-1054
使用ボルト数	35本

①室内から（壁パネル）・（袖壁パネル）をはめ込みます。（下を先に入れて上をはめ込みます。）
②柱・間柱にボルト止めします。1（開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。－工程13参照）

注意 ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。



注意 壁パネルと下枠に三角形状のすきまが発生したり隣同士の棚受け取付けの角乳が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の建ちを確認してください。

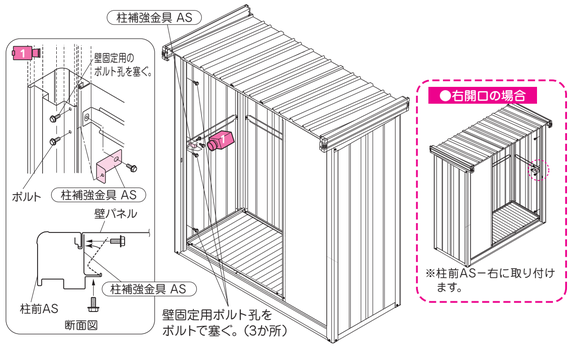


※壁パネル、袖壁共に上下の区別はありません。

13 柱補強金具の取付け

使用梱包	LM5-0131
使用ボルト数	5本

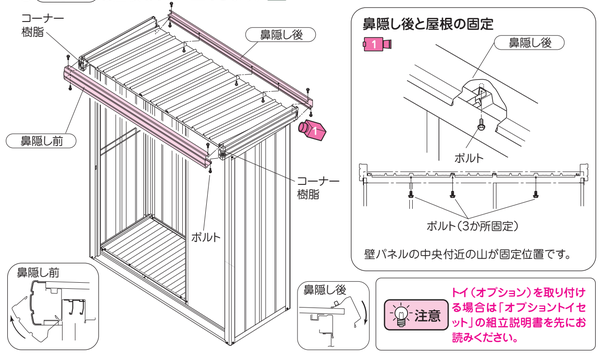
①（柱補強金具AS）を柱前AS-左（右側開口の場合は柱前AS－右）にボルト止めします。1
②壁固定用ボルト乳はボルトで塞ぎます。



14 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1104
使用ボルト数	11本

①（鼻隠し前）・（鼻隠し後）を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
②（鼻隠し後）と屋根をボルト止めします。1



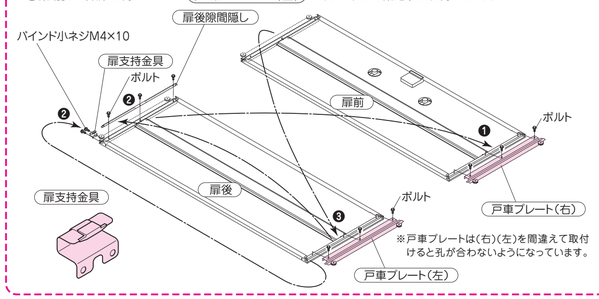
注意 トイ（オプション）を取り付ける場合は「オプショントイセット」の組立説明書を先にお読みください。

15 扉吊元変更（右開口に変更する場合のみ）

注意 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。
左開口の場合はこの工程は必要ありません。

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	0本

①扉後から（戸車プレート（右））を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
②扉後の（扉後隙間隠し）（扉支持金具）を取り外して扉後の反対側に取付けます。
③扉前の最初に付いていた（戸車プレート（左））を取り外して扉後に取付けます。

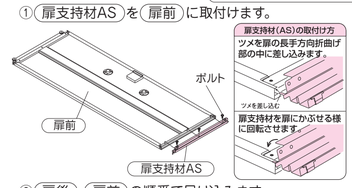


16 扉の吊り込み

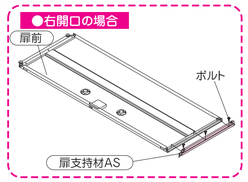
注意 扉を吊り込む際は下枠前ASの上面に砂状が無いことを確認してください。

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	3本

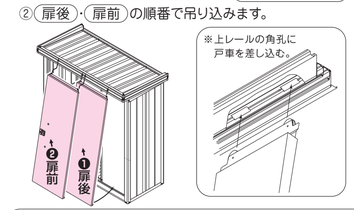
①（扉支持材AS）を（扉前）に取付けます。



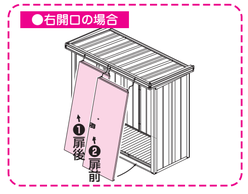
●右開口の場合



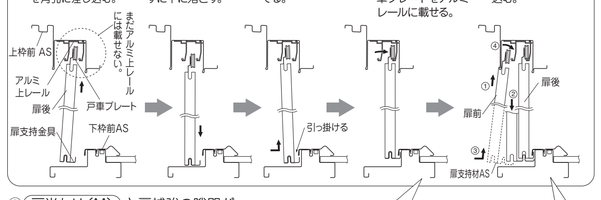
②（扉後）・（扉前）の順番で吊り込みます。



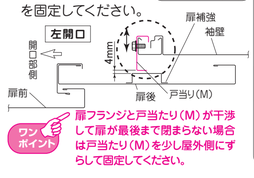
●右開口の場合



扉の吊り込み手順



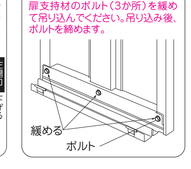
③（戸当たり（M））と扉補強の隙間が4㎜程度になる位置で（戸当たり（M））を固定してください。



ワンポイント 扉フランジと戸当たり（M）が干渉して扉が最後まで閉まらない場合は戸当たり（M）を少し屋外側にずらして固定してください。

扉後が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを緩め、扉支持金具がついている側を上げ、反対側を下げてボルトを締め、吊り込んでください。

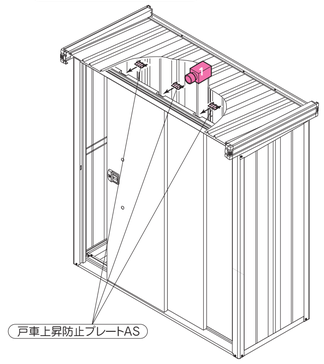
扉前が吊り込みにくい場合は、扉支持材のボルト（3か所）を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

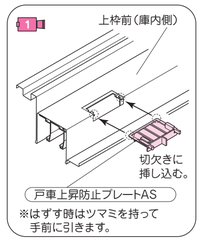


17 戸車上昇防止プレートの取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	0本

①（戸車上昇防止プレートAS）を上枠前ASに取付けます。（3か所）1





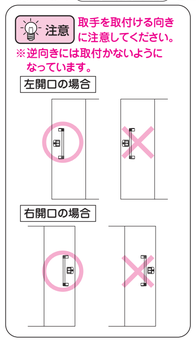
注意 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を外す時は必ず戸車上昇防止プレートASを取外してください。

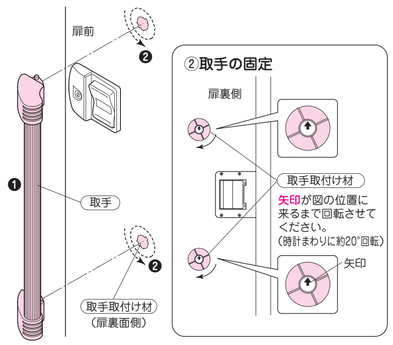
18 取手の取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	0本

①（取手）を扉前の取付け乳に差し込みます。※向きがありますので注意してください。
②扉裏の（取手取付け材）を回して取手を固定します。

注意 取手を取付ける向きに注意してください。
※逆向きには取付かないようになっています。

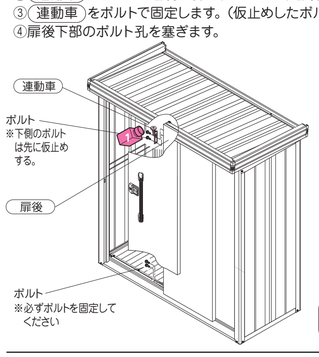


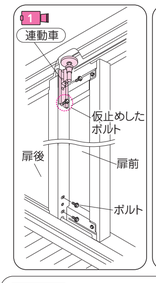


19 連動車の取付け

使用梱包	LM5-1704
使用ボルト数	4本

①扉後の連動車取付け部下側の固定乳にボルトを仮止めします。
（ネジ部を5㎜程度残してください）
②（連動車）のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めしたボルトに引っ掛けます。1
③（連動車）をボルトで固定します。（仮止めしたボルトも締め込んでください。）
④扉後下部のボルト乳を塞ぎます。



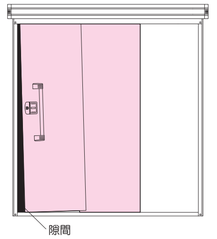


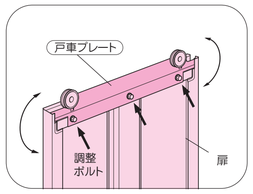
ワンポイント ローラー部分を押し下げると取付けし易くなります。

注意 連動車には絶対に注油しないでください。連動しなくなります。

20 扉の建付け調整

①扉を閉めて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、
戸車を固定しているボルト（調整ボルト）をゆるめて調整します。





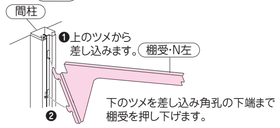
注意 建付け調整で直らない場合は、基礎の水平、本体の建ちを直してください。

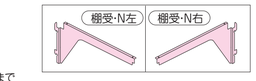
ワンポイント ボルトをゆるめて庫内から扉を閉めて扉が柱に沿うように手で押さえながらボルトを締め直します。

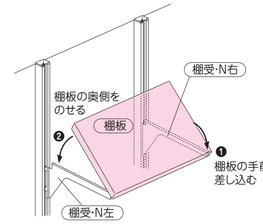
21 棚板の取付け

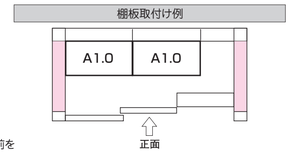
使用梱包	LM5-1901
使用ボルト数	0本

①（棚受）を図の様に壁パネルの角乳に差し込みます。
②（棚板）を棚受の先端に差し込んでから取付けます。（標準で棚板A1.0が2枚付いています。）







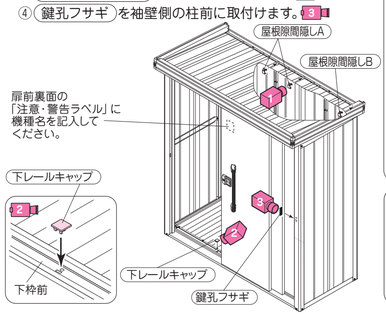


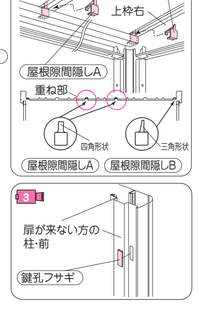
注意 の壁パネルには棚受は取付けできません。

22 その他部品の取付け

使用梱包	LM5-0131
使用ボルト数	0本

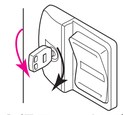
①扉表面の注意・警告ラベルに〝機種名〟を記入します。
②（屋根隙間隠しA）を上枠後の屋根の重ね部に、（屋根隙間隠しB）を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。1
③（下レールキャップ）を下枠前に取付けます。2
④（鍵乳フサギ）を袖壁側の柱前に取付けます。3





◆錠操作方法について

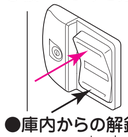
●施錠する方法



施錠：鍵を差し込んで反時計回りに180°回します。
解錠：鍵を差し込んで時計回りに180°回します。
※右側開口でも動作は同じです。

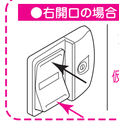
⚠注意 施錠した状態でボタンを強く押し込まないでください。錠の破損に繋がります。

●仮ロックする方法



仮ロック：ボタンの上側を押し込みます。
解錠：ボタンの下側を押し込みます。

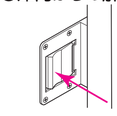
●右開口の場合



解錠：ボタンの上側を押し込みます。
仮ロック：ボタンの下側を押し込みます。

●庫内からの解錠方法

施錠時、仮ロック時どちらの場合でも庫内から解錠できます。（庫内からの施錠、仮ロックはできません。）



庫内側のレバーを押し込みます。
※施錠した状態で内部から解錠した場合、次に施錠する際には鍵を一旦時計回りに180°戻す必要があります。

⚠注意 使用しない時は中に人がはいらないよう必ず施錠してください。施錠、仮ロックする場合は庫内に人がいないことを十分確認してください。

○組立てチェック

組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。

	チェック欄
①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。	
②鍵が正常に作動するかご確認ください。	
③戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。	
④棚板の配置確認をしてください。	
⑤機種名が記入されたか確認してください。（扉裏面の注意・警告ラベル）	
⑥ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	

○こんな時は

・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS,連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。（工程16 17 19）
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。（工程18）
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり（M）を調整してください。（工程16）

お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

（1808）
ヨドコウ
淀川製鋼
（2025年A制作）